

漁海況情報第1報 (2009年4月10日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0138

本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

沿岸海域では親潮系冷水の影響を受ける一方、沖合海域を中心に昇温傾向

本県沿岸から沖合海域の水温の状況は、前月に比べ、 $142^{\circ} 30' E$ 付近で著しく昇温し全体的には7~12 台になりました。100m 深では、前月より沖合海域において概ね昇温し5~11 台になりました。

[P1.水温水平分布図]

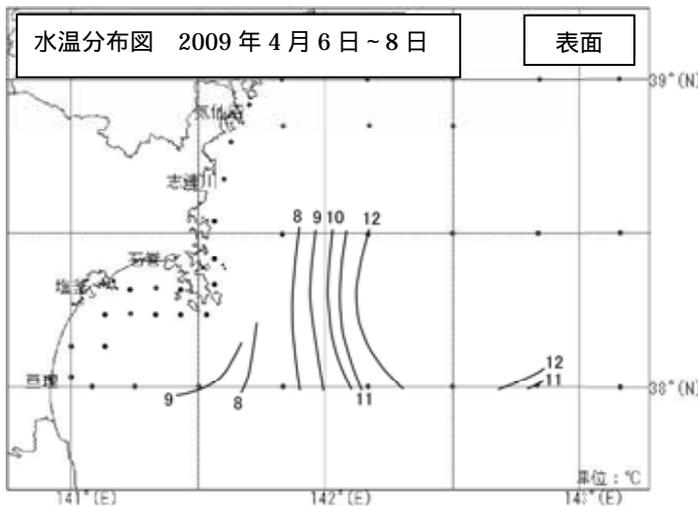
平年との比較では、表面水温・100m 深水温とも、雄勝沖合($38^{\circ} 30' N$ ライン)から亘理沖合($38^{\circ} N$ ライン)にかけて、沿岸海域では平年並みかやや高め、 $142^{\circ} 30' E$ 付近の海域では平年より5~6 高めになりました。[P1.水温平年偏差図]

水温鉛直断面図をみると、亘理沖合ラインでは、 $142^{\circ} E$ 付近の海域で上層から下層にかけて、5~7 台の冷水が見られました。[P2.水温鉛直断面図]

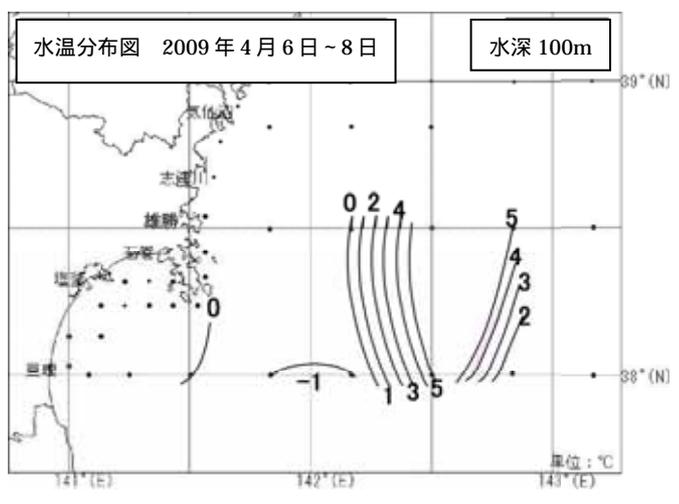
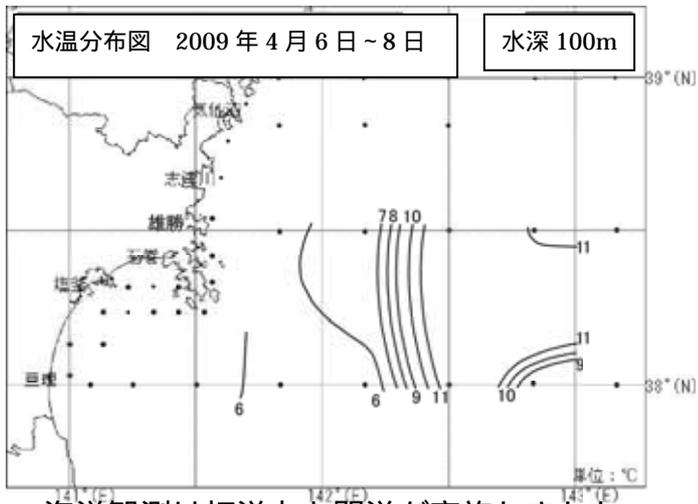
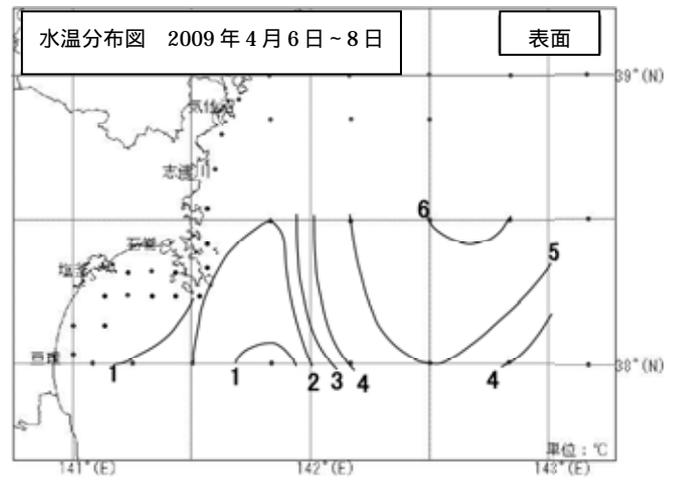
東北海域の表面水温の分布は、岩手県から本県の沿岸海域には親潮系水が、 $142^{\circ} \sim 145^{\circ} E$ 付近には暖水域がみられます。[P2.東北海域の海況図：(社)漁業情報サービスセンター]

なお、3月下旬の定地水温は、歌津でやや高め、江島・田代島はともに平年並みでした。[P2.定地海洋観測結果]

・水温水平分布図



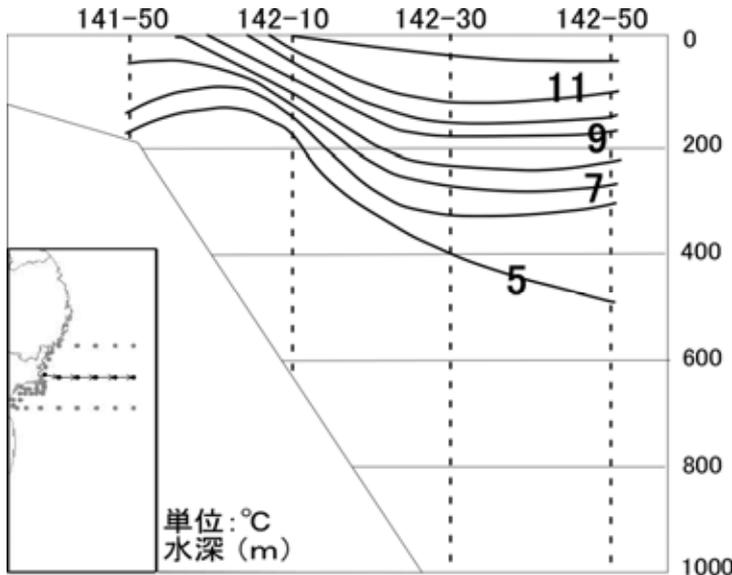
・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)



・海洋観測は拓洋丸と開洋が実施しました。

・水温鉛直断面図

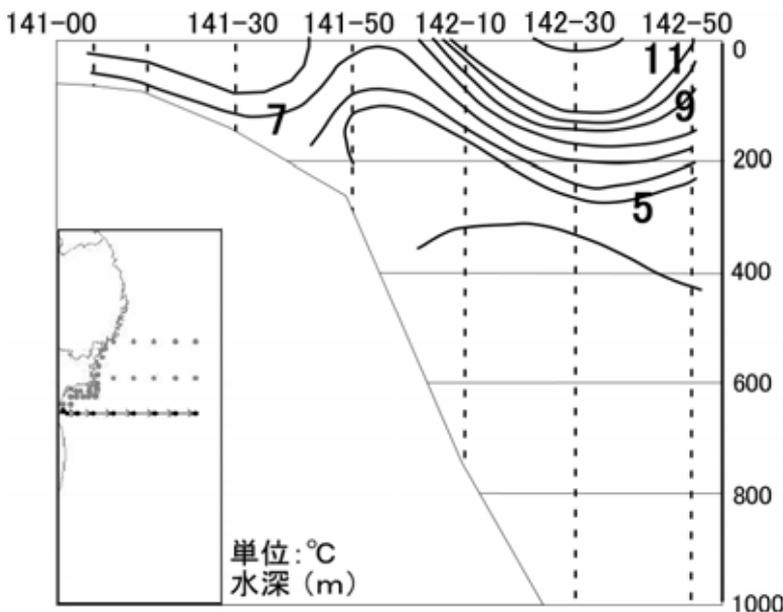
38°30' Nライン (雄勝沖合ライン)



特記事項 (社) 漁業情報サービスセンター

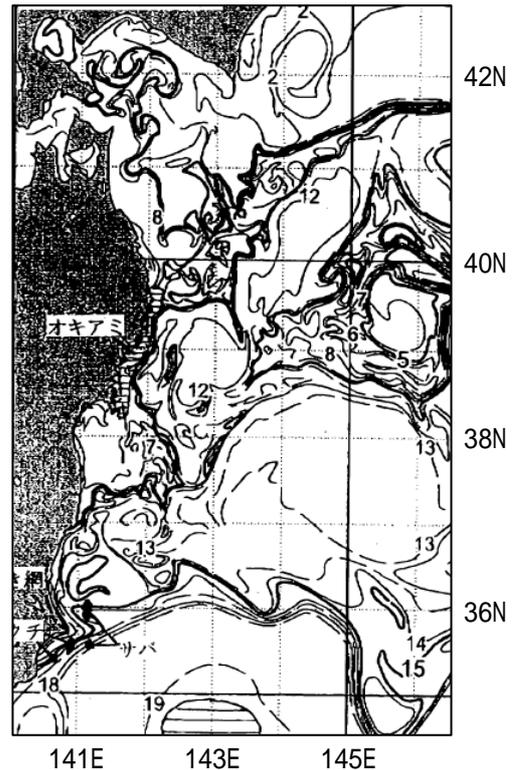
- ・ 鹿島灘～金華山沿岸は7～16 台。
- ・ 金華山以北の沿岸は4～11 台。
- ・ 津軽暖流は8～9 台。
- ・ 沿岸沖では冷水(5)の南端は前期と比べ大きく後退し、40°15' N・142°15' E。
- ・ 鹿島灘沖～尻屋崎沖 36°～41°40' N・141°～147° E には10～15 までの暖水が広く北上。
- ・ 10 の北端は41°40' N・147° E。
- ・ 15 の北端は近海では、31°30' N・142°25' E。
- ・ 近海では暖水の北上により各所に潮境が発達。山田沖～関上沖 (8～11)、野島崎沖から犬吠沖 (15～19) 等に潮境が分布。

38°Nライン (巨理沖合ライン)



・ 2009年4月6日の東北海域の海況(表面水温)

(社) 漁業情報サービスセンター



	3月下旬 (平年比)	平年差	前年差
歌津	7.5 (やや高い)	+0.7	+1.5
江島	7.3 (平年並み)	±0.0	+1.5
田代島	7.5 (平年並み)	±0.0	-0.2

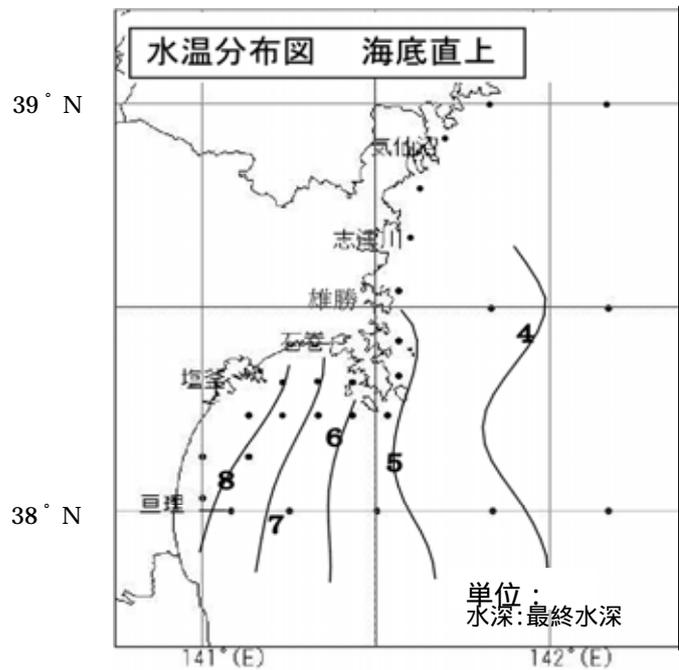
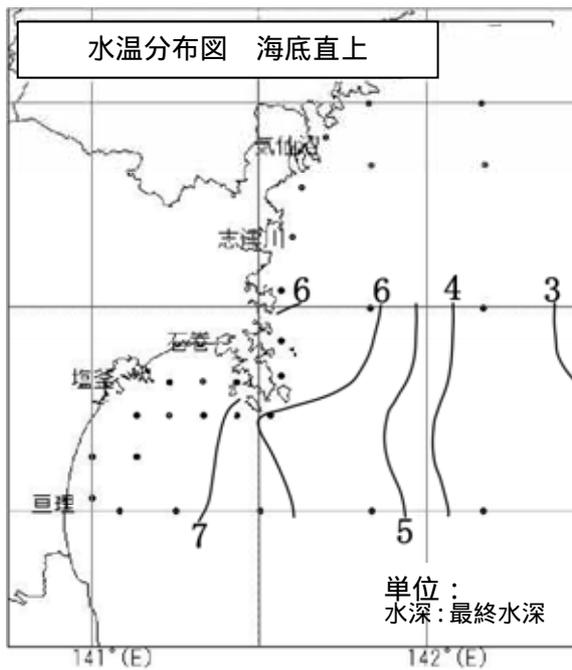
平年差は、江島、田代島：過去30年間、歌津：過去10年間との比較。

毎日の定地水温情報は当センターホームページでも見られます。

(<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>)

2. 底層水温図

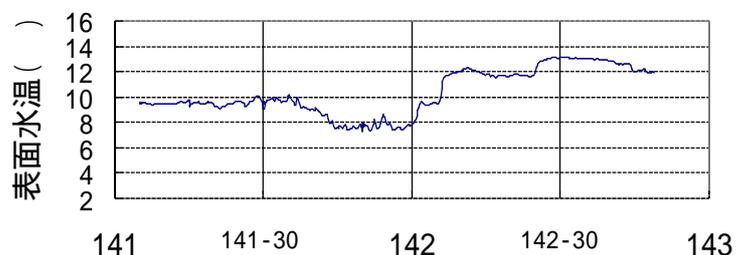
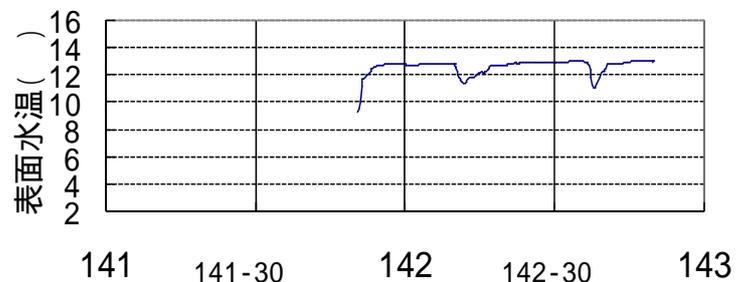
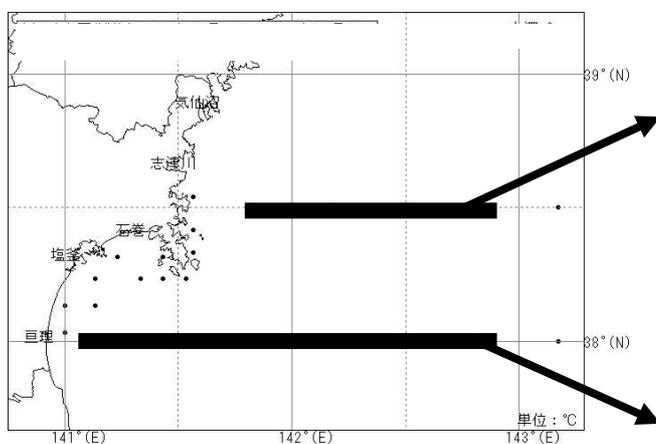
- ・ 海底直上水温(2009年4月6日～8日) ・ 昨年同期の海底直上水温(2008年4月3日～4日)



3. 表層水温情報

拓洋丸に搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記のとおりです。

- ・ 38°ラインについて、142°40'～142°Eの間で、表面水温が低めになっています。



4. 漁況

主要魚種の県内10魚市場の水揚量。(集計期間:2009年3月1日～3月31日, 単位:t)

魚種	沖底	小底	刺網	巻網	その他	総計	前年比(%)
イカナゴ	0	0	0	0	324	324	80%
ツノナシオキアミ	0	0	0	0	6,359	6,359	121%
イトヒキダラ	163	0	0	0	2	166	51%
マダラ	511	359	3	0	203	1,076	188%
スケトウダラ	168	90	0	0	231	490	54%

宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

5. 調査船運航計画

拓洋丸	
4月17日	計量魚探キャリブレーション
4月20日～28日	鯨類餌環境調査

開洋	
4月21日	仙台湾定期水質調査

平成20年度 第3回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報（2009年4～7月）

平成21年3月25日付けで、「平成20年度第3回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報（2009年4～7月）」が出されました。宮城県海域について予測が出されたのはマイワシ、カタクチイワシ、マサバ、ゴマサバで、予報内容を以下に示します。

《今後の見通し》

海況

対象海域：鹿島灘～常磐南部海域 見通し：親潮由来の冷水が沿岸域に波及することがあるが、徐々に弱くなる。房総沖の黒潮の離接岸や、暖水舌の形成によって、暖水が沿岸域へ波及することがある。

マイワシ

対象海域：房総～道東 対象漁業：まき網，定置網

(1)来遊量:2,3歳魚の漁場への来遊はごく少ない。1歳魚も前年同様あるいはそれを下回る。(2)漁期・漁場:4～5月は鹿島灘～九十九里沖で、6月には常磐海域へ、7月には仙台湾～三陸南部海域へと拡大・北上する。ただし、常磐以北海域においては来遊の見られないことも想定される。三陸南部～仙台湾の定置網は5月以降。道東での漁場形成は無い。(3)魚体:4～5月は14～16cm、6月以降は16～18cm(いずれも1歳魚)となる。

カタクチイワシ

対象海域：房総～道東 対象漁業：まき網，定置網

(1)来遊量：まき網は前年を上回る。三陸の定置網は前年並。道東の定置網は前年を上回る。(2)漁期・漁場：まき網の主漁場は4月～5月に鹿島灘～外房海域、6月以降鹿島灘以北にも広がる。仙台湾から三陸南部の定置網は5月から。(3)魚体：11～12cm 台(1歳魚)主体。

マサバおよびゴマサバ

対象海域：犬吠～三陸海域 対象漁業：まき網，定置網

(1)来遊量：マサバ1歳魚は前年を下回る。2歳魚は前年を上回る。3歳魚、4歳魚は前年を下回る。マサバとしては前年並か下回る。ゴマサバ1歳魚は前年を下回る。2歳魚は前年を上回る。3歳魚以上は前年を下回る。ゴマサバとしては前年を下回る。サバ類全体としては前年並～下回る。(2)漁期・漁場：まき網の漁場は、犬吠埼～常磐南部が中心となり、6～7月は常磐北部にも形成される。(3)魚体：マサバは23～25cmの1歳魚および28～34cmの2歳魚が主体となり、35cm以上(3歳魚以上)が混じる。ゴマサバは24～30cm前後(2,1歳魚)がマサバに混獲される。